

令和 2 年 度

漁港施設機能強化事業に伴う配水管布設替工事

岩手県釜石市



実 施 功 功  
~~竣 功~~  
~~第 1 回 出 来 形~~  
~~第 1 回 変 更~~

工 事 設 計 書

実 施 竣 功 出 来 形				
所 長	係 長	設 計	精 算	工 務 係
変 更				
所 長	係 長	設 計	精 算	工 務 係

釜石市新浜町 地内

漁港施設機能強化事業に伴う配水管布設替工事

工 費 金  円也

上 段 原 設 計  
 下 段 変 更 設 計

工 事 の 大 要	名 称	延長、巾員等	単位	数 量 等
	施工延長		m	304.1
	配水管 布設替工	DIP (GX) φ 200	m	87.7
	〃	HPPE φ 150	m	198.0
	〃	HPPE φ 100	m	6.4
	〃	HPPE φ 75	m	12.0
	給水管切替工	φ 20～φ 50	箇所	17.0
	管閉塞工	φ 150～200	m	1,980.0
工事 日数	134日間			
	附 与 日			

摘 要

釜 石 市



# 直接工事費総括表

漁港施設機能強化事業に伴う配水管布設替工事

No. 1

種 目	施 設 別	工 種 別	規 模 及 び 形 状 寸 法	金 額	管 材 費	機 器 費	備 考
本工事費							
	配水施設	配水管布設工1	DIP(GX) φ200 L=87.7m、HPPE φ150 L=198.0m φ100 L=6.4m(L'=6.9m) φ75 L=12.0m(L'=12.7m)				内訳書1号
		給水管切替工1	PP φ50 N=1箇所 φ30 N=5箇所 φ25 N=6箇所 φ20 N=5箇所				内訳書2号
		管閉塞工1	φ150、200 L=1280.0m				内訳書3号
		管閉塞工2	φ150 L=700.0m				内訳書4号
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B N=28人				
		直接工事費計					
		技術管理費	通水試験				

# 工事費総括表

漁港施設機能強化事業に伴う配水管布設替工事

名 称	当 初 設 計		変 更 設 計	
	算 出	根 拠	算 出	根 拠
直接工事費				
支給品費				
対象額控除額				
共通仮設費	(1) 率による共通仮設費			
	(2) 積上げ運搬費			
純工事費				

# 工 事 費 総 括 表

漁港施設機能強化事業に伴う配水管布設管工事

名 称	当 初 設 計		変 更 設 計	
	算 出 根 拠	金 額	算 出 根 拠	金 額
現場管理費				
工事原価				
一般管理費				
工事価格				
消費税相当額				
産業廃棄物税				
工事費				
消費税相当額				
産業廃棄物税				
請負契約額				

## 配 水 管 布 設 工 1 工 事 設 計 書

### 1. 工事計画概要

DIP(GX) φ 200 L=87.7m、HPPE φ 150 L=198.0m φ 100 L=6.4m(L'=6.9m) φ 75 L=12.0m(L'=12.7m)









工 種	名 称	形 状 寸 法	単位							摘 要
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
3) 一次 復旧費	管路掘削工	砂質・礫・粘 BH0.20 (排ガス対策型)	m3	170.00						一位 61号
	管路砂基礎工	洗砂 BH0.20 (排ガス対策型)	m3	40.00						一位 62号
	管路埋戻工 タンバ転圧	砂質・礫・粘 BH0.20 (排ガス対策型)	m3	70.00						一位 63号
	管路発生土処理工	4t-1.1~2.0km BH0.20 (排ガス対策型)	m3	90.00						一位 64号
	上層路盤工 粒調砕石40	人力施工 t=15cm	m <sup>2</sup>	172.00						一位 65号
	下層路盤工 再生CR40~0	人力施工 t=15cm	m <sup>2</sup>	172.00						一位 67号
	軽量鋼矢板土留工	H=2.0m(1段) BH0.20, トラッククレーン4.9t 吊使用	m	2.70						一位 73号
	小 計									

## 給水管切替工1 工事設計書

### 1. 工事計画概要

PP φ50 N=1箇所 φ30 N=5箇所 φ25 N=6箇所 φ20 N=5箇所





[illegible][illegible]









管 閉 塞 工 2 工 事 設 計 書

## 1. 工事計画概要

φ 150 L=700. 0m

[ 1 / 5 ]  
内訳書4号

[illegible]



[illegible]

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	13款目 2			13款目 2			摘 要
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
4) 次 復旧費	管路掘削工	砂質・礫・粘 BH0.20 (排ガス対策型)	m3	2.0						一位 73号
	管路砂基礎工	洗砂 BH0.20 (排ガス対策型)	m3	0.6						一位 74号
	管路埋戻工 タンパ転圧	砂質・礫・粘 BH0.20 (排ガス対策型)	m3	1.0						一位 75号
	管路発生土処理工	4t-1.1~2.0km BH0.20 (排ガス対策型)	m3	1.0						一位 76号
	上層路盤工 粒調碎石40	人力施工 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.0						一位 77号
	路盤工 再生CR40~0	人力施工 t=12cm	m <sup>2</sup>	1.0						一位 78号
	下層路盤工 再生CR40~0	人力施工 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.0						一位 79号
小 計										

交 通 誘 導 警 備 員 内 訳 書

1. 交通誘導警備員内訳

[illegible]

## 運

搬

## 費

内

訊

書

1.

重機機種

### 運搬距離

[illegible]



内訳書 2 号

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位							摘 要
				割 増	単 価	金 額	割 増	単 価	金 額	
	仮設材の積込・取卸し	(基地～現場)								
	仮設材の積込・取卸し	(現場～基地)								
	計									

# 積 上 げ 技 術 管 理 費 内 訳 書

## 1. 積上げ技術管理費内訳

～ 通水試験費 ～ 1式





[ 釜 石 市 ] 採用月:令和 2 年 4 月単価  
[ 漁港施設機能強化事業 ] 作成日:令和 2 年 4 月 16 日

【金 抜】

# 一 位 代 価 表

## 一 位 代 価 総 括 表

番号	名 称	形 状 寸 法	単位						
				単 価	摘 要 ①	摘 要 ②	単 価	摘 要 ①	摘 要 ②
1	鋳鉄管布設工 (機械)	φ 200	m						
2	鋳鉄管切断工	φ 200 (エンジンポンプ)	口						
3	メカニカル継手工	φ 75	口						
4	メカニカル継手取外工	φ 100	口						
5	G X継手接合工 (直管)	φ 200	口						
6	G X継手接合工 (異形管)	φ 200	口						
7	G X継手接合工 (G-Link)	φ 200	口						
8	フランジ継手工 (7.5K)	φ 75	口						
9	ポリエチレン管布設工	φ 13	m						
10	ポリエチレン管布設工	φ 20	m						
11	ポリエチレン管布設工	φ 25	m						
12	ポリエチレン管布設工	φ 30	m						
13	ポリエチレン管布設工	φ 40	m						
14	ポリエチレン管布設工	φ 50	m						
15	ポリエチレン管融着融合布設工	φ 75	m						
16	ポリエチレン管融着融合布設工	φ 100	m						
17	ポリエチレン管融着融合布設工	φ 150	m						
18	ポリエチレン管切断工	φ 13	口						
19	ポリエチレン管切断工	φ 20	口						
20	ポリエチレン管切断工	φ 25	口						

一位代価総括表

番号	名 称	形 状 寸 法	単位						
				単 価	摘 要 ①	摘 要 ②	単 価	摘 要 ①	摘 要 ②
21	ポリエチレン管切断工	φ30	口						
22	ポリエチレン管切断工	φ40	口						
23	ポリエチレン管切断工	φ50 (φ13~φ50)	口						
24	ポリエチレン管切断工	φ75	口						
25	ポリエチレン管切断工	φ100	口						
26	ポリエチレン管切断工	φ150	口						
27	ポリエチレン管継手工	φ13 (1口)	口						
28	ポリエチレン管継手工	φ20 (1口)	口						
29	ポリエチレン管継手工	φ25 (1口)	口						
30	ポリエチレン管継手工	φ30 (1口)	口						
31	ポリエチレン管継手工	φ40 (1口)	口						
32	ポリエチレン管継手工	φ50 (1口)	口						
33	ポリエチレン管融着継手工	φ75 (2口)	箇所						
34	ポリエチレン管融着継手工	φ100 (2口)	箇所						
35	ポリエチレン管融着継手工	φ150 (2口)	箇所						
36	ポリエチレン管融着継手工	φ150 (1口)	口						
37	水道配水PP管用メカニカル継手工	φ75	口						
38	水道配水PP管用メカニカル継手工	φ100	口						
39	水道配水PP管用メカニカル継手工	φ150	口						
40	ねじ込み銅管据付工	80A	m						

一位代価総括表

番号	名 称	形 状 寸 法	単位						
				単 価	摘 要 ①	摘 要 ②	単 価	摘 要 ①	摘 要 ②
41	ねじ込み銅管切断工	80A	箇所						
42	ねじ込み銅管接合工	80A	口						
43	鉄製仕切弁設置工	φ75 (機械力)	基						
44	鉄製仕切弁設置工	φ200 (機械力)	基						
45	仕切弁表函設置工	底版倉	箇所						
46	消火栓設置工	地下式 単口 (機械)	箇所						
47	管明示シート工		m						
48	管明示テープ工 (PP)	φ75 天端明示無	m						
49	管明示テープ工 (PP)	φ100 天端明示無	m						
50	管明示テープ工 (PP)	φ150 天端明示無	m						
51	管明示テープ工 (DIP)	φ200×5m 照参箇所数4 天端明示無	m						
52	サドル分水栓取付工	φ150×20 (PP)	箇所						
53	サドル分水栓取付工	φ150×25 (PP)	箇所						
54	サドル分水栓取付工	φ150×30 (PP)	箇所						
55	サドル分水栓取付工	φ200×13 (DIP)	箇所						
56	サドル分水栓取付工	φ200×20 (DIP)	箇所						
57	サドル分水栓取付工	φ200×25 (DIP)	箇所						
58	サドル分水栓取付工	φ200×30 (DIP)	箇所						
59	サドル分水栓取付工	φ200×40 (DIP)	箇所						
60	サドル分水栓取付工	φ200×50 (DIP)	箇所						











ポリエチレン管布設工

ϕ 13

10m当たり

[illegible]

## ポリエチレン管布設工

φ 20

10m当たり

[illegible]

































水道配水PP管用メカニカル継手  $\phi 150$   
工

1口当たり

[illegible]

ねじ込み鋼管据付工

80A

10m当たり

[illegible]





























上層路盤工 粒調碎石M-40

15cm ｸﾝﾊﾞ 締固 (管路土工)

100㎡当たり

[illegible]

路盤工 RC-40 (再生材)

12cm 外ハ・締固 (管路土工)

100m<sup>2</sup>当たり

[illegible]

下層路盤工 RC-40 (再生材) 15cm ｸﾞﾗﾝﾌﾟ 締固 (管路土工)

100m<sup>2</sup>当たり

[illegible]

消火栓表函設置工

角型2号 600×500 (鉄蓋設置含)

1箇所当たり

[illegible]



軽量鋼矢板土留工(軽量金属腹起し・水圧式ホート使用) H=2.0m(1段) BH0.20, トラッククレーン4.9t吊使用

100m当たり

[illegible]

G X継手接合工（異形管）

φ 100

1日当たり

[illegible]







名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要 ①	摘 要 ②
配管工			人				
普通作業員			人				
器具損料及び諸雑費			式				
計							
1m当たり単価							

# 仕 様 書

釜石市水道事業所

## 仕 様 書

### 一般事項

#### (摘要範囲)

1. この工事標準仕様書（以下仕様書という）は、請負者（以下乙という）が請負により施工する各種工事に適用するものとする。
2. この仕様書に定めのない事項は、別に特記仕様書で定めるものとする。
3. この仕様書の定めと、特記仕様書の定めが異なるときは、特記仕様書によるものとする。

#### (諸法規の適用)

1. 本工事の施工に当たっては、別紙図面、設計書及び請負契約書によるほか、水道工事標準仕様書（日本水道協会）、土木工事仕様書、特記仕様書に準拠するものである。

#### (工事管理)

1. 承認された工程表に基づく工事施工の時期、順序並びに工程表の変更等については監督員の承認を得なければならない。
2. 請負者は実施工程表、工事日誌、材料受払い簿の帳簿を備え、監督員の要求により工事日報を提出し、所長簿の点検を受け、又毎月の出来高工程を翌月の2日までに報告しなければならない。
3. 工事施工の都合上、夜間作業を必要とするときは、あらかじめ監督員の承認を得なければならない。又監督員が工程管理あるいは、現場管理上必要と認めたときは、夜間作業を命ずることがある。

#### (現場管理)

1. 工事箇所及びその周辺にある地上及び地下の既設構造物に対しては、工事施工に伴い支障を及ぼさないように、関係主と協議の上、所要の処置をしなければならない。
2. 工事現場内及びその周辺には、所要の標識、標識灯、防護柵、及び立入禁止の立札等を設備し必要に応じ照明設備を設け、あるいは信号員、見張員を置く等一般公衆及び作業員の安全を確保するための万全の施設をしなければならない。

(品質管理)

1. 請負者は、工事施工中絶えず品質管理を行い、監督員から要求のあった場合は、その結果を提出しなければならない。

(工事写真)

1. 請負者は監督員の指示により、工事竣工後外部から明視、測定等ができなくなる箇所、竣工後までに撤去する仮設物、あるいは竣工後までに残存しない維持的物件の施工状況並びに重要な工事階段等の工事状況を撮影し、その都度監督員に提出しなければならない。
2. 工事写真の提出部数は一部とし、大きさは特に監督員が指示する場合のほかは、サービス版とする。
3. 写真は設計図書に基づき構造物の施工状況、出来高、品質管理等工事の進行とともに、その実態が検査時において確認できる様にし、特に水中又は地下に埋設する箇所に重点をおいて撮影するものとする。

(黒板明示)

(官公署及び民間との交渉、協力)

1. 請負者は工事中関係官公署、その他と密接に連絡して充分強調を保つとともに工事現場に関係ある一般民間人に対しても親切を旨として工事の円滑な運営を図らなければならない。
2. 請負者が工事施工のために必要とする関係官公署、その他に対する諸手続きは、工事に支障のないよう遅滞なく処理しなければならない。

(工事検査)

1. 工事の出来高検査にあたっては、請負者又は、現場代理人及び主任技術者は必ず立ち会わなければならない。
2. 請負者は検査方法について異議を申し立てることができない。

(請負者の負担)

1. 請負者は設計図書及び仕様書に明示していない費用であっても、工事施工上、当然必要と認められるものは、これを負担しなければならない。

(材料)

1. 工事用材料は、設計図書又は、仕様書に品質、規格を明示したもののほか J I S の規格のあるものにあっては、これに合格するものとし、すべて使用前に監督員の検査に合格したものでなければならない。

(材料試験及び検査)

1. 工事用主要材料は、必要に応じ材料試験を行い監督員の承認を受けなければならない。
2. 試験又は、検査に合格した材料でも使用時において変質又は、不良品となったものは使用してはならない。

(現場発生品)

1. 工事施工により生じた現場発生品及び残土等は、すべて監督員の指示に従い処理するものとする。

(埋戻し)

1. 掘削土砂の埋め戻しにあたっては、その順序方法等について監督員の指示を受けなければならない。

管布設関係

(布設位置)

1. 管布設の平面位置及び土被りは、設計図に正確に決定し必要に応じて地下埋設物、その他障害物を確認し監督員と協議のうえ布設位置を決定しなければならない。

(掘削工)

1. 機械掘削をする場合は、施工区域全域にわたり地上、地下埋設物に十分に注意をしながら行わなければならない。

(埋戻工)

1. 埋戻は所定の土砂を用い、片埋めにならないように注意しながら厚さ 20 c m 以下ごとに充分締め固めなければならない。
2. 埋戻に際しては、管、その他の構造物に損傷を与えたり、管の移動が生じたりしないよう注意して行わなければならない。

(弁類の取り扱い)

1. 弁類の取扱いは台棒、角材などを敷いて直接地面に接してはならない。吊り上げる場合は、台付きを確実にとらえなければならない。

(管据え付け)

1. 管据え付けにあつては、十分内部を清掃し水平器等を使用し中心線及び高低を確定して、移動しないよう胴締めを堅固に行い、管鑄出文字を上向きにして据え付けなければならない。
2. 管据え付けには、管に影響を与えないよう床付面を仕上げ、必要に応じて砂を敷き、又は、枕木を並べる等の処理をしなければならない。
3. 一日の布設作業完了後は、管内に土砂、汚水等が流入しないよう木蓋で管末端をふさがなければならない。
4. 管接合完了後は、一定区間毎に水圧試験を行うがその圧力強度及び継続時間は監督員が指示する。

(建設業退職金共済証紙購入状況報告書等)

1. 建設業退職金共済証紙購入状況報告書を工事契約締結後 1 か月以内に発注者に提出しなければならない。また、建設業退職金共済証紙を購入しない場合は、建設業退職金共済証紙不購入理由書を発注者に提出しなければならない。
2. 工事請負金額が 1,000 万円を超える場合、建設労災補償共済制度加入状況報告書を工事契約締結後 5 日以内に発注者に提出しなければならない。





## 特 記 仕 様

釜石市水道事業所

1. この仕様書は、釜石市水道事業所の発注する、「漁港施設機能強化事業に伴う配水管布設替工事」に適用する。
2. この特記仕様書に記載されていない事項については、釜石市水道工事標準仕様書及び岩手県県土整備部発行「土木工事共通仕様書」によるものとする。
3. 主任技術者又は、現場代理人には2級以上の土木施工管理技士をおき、工事の安全に十分に留意すること。
4. 工事箇所において、歩行者及び地域住民に周知し安全管理を徹底すること。
5. 工期は、134日間とする。
6. その他不明な点があるときは、その都度監督員の指示を受けること。

